

GINORI 1735

ITALIA

PRESS RELEASE
05th April, 2023

GINORI 1735 初のホームコレクション GINORI DOMUS 誕生



GINORI DOMUS

HOME COLLECTION DESIGN BY LUCA NICHETTO

MADE IN COLLABORATION WITH RUBELLI AND BAROVIER & TOSO



GINORI 1735

PRESS RELEASE
05th April, 2023

ITALIA

磁器の清らかなエレガンスと大胆な挑戦からGINORI 1735初のホームコレクション、GINORI DOMUS (ジノリ・ドムス)が誕生しました。照明、家具、ファブリックという品々で構成された本コレクションは、メゾンをインテリアデザインの世界へと導きます。

GINORI DOMUSは、卓越したノウハウとクリエイティブな感性で結ばれた高名なパートナー、Barovier&Toso (バロヴィエール&トーズ)とRubelli (ルベッリ)、そして熟練した職人たちとのコラボレーションにより、前例のない新たな道へと歩み出しました。なぜなら、磁器は単なる素材に留まるものではなく、メゾンの姿勢、流儀、そして欲望そのものであり、GINORI 1735を横断的なライフスタイルへと導くものであるからです。

ルカ・ニケットがデザインを手がけるDOMUSは、コンテンポラリーデザインとイタリアの伝統的な職人技、最高級の素材が絶妙に融合されており、ユニークで上品なインテリアを実現します。そのオリジナリティ、斬新なデザイン、素材の独特な組み合わせから、視覚的なインパクトが際立ち、空間における主役的なアイテム“ステートメントピース”となるでしょう。

この新しいホームコレクションは、研究と創造性、職人技と革新性を兼ね備えるGINORI 1735の文化を体現しています。文化的発展に寄与するハブとなりうるブランド力を示すとともに、実体験性、包括性、多様性で特徴づけられる今日の日常生活における新しいラグジュアリーのあり方を提案していきます。

コレクション一つひとつが、現代のライフスタイルを考慮しデザインされ、家庭やおもてなしの場に喜びをもたらす最適なアイテムとなるでしょう。すべてが完全なるイタリア製であり、芸術的な職人技がユニーク性と特別感を際立たせ、製品の価値を高めています。

ラウンジチェア「La Venus」、アームチェアとオットマン「Dulsis」、キャビネット「LaTour」、コーヒーテーブル「Optique」は、ルカ・ニケットにより、異なる言語やアプローチをクロスオーバーさせるGINORI 1735特有のスタイルを見事に踏襲させたデザインとなっています。テーブルランプの「Trinitas」と「Sideris」、フロアランプの「Conterie」は、卓越した製造技術を誇るBarovier&Tosoとのコラボレーションにより実現されました。また、名窯GINORI 1735の代表的な装飾を想起させる、アート、ファッション、デザインの絶妙な折衷から生まれたジャカード生地「Oriente Italiano」、「Sagitta, Saia」、「Ondori」は、Rubelliとのコラボレーションで作られています。

そして、このコレクションを完成させるのが無鉛のクリスタルガラスとカトラリーです。エモーションと実用性が見事に調和し、食卓を実に個性的に演出します。



GINORI 1735

PRESS RELEASE
05th April, 2023

ITALIA

DOMUS : ファニチャー

LAVENUS | ラヴェーナス

ラウンジチェア LaVenusは、サンドロ・ボッティチェリの絵画作品、不朽の美を啓示する女神が神秘的な貝の上に鎮座する「ヴィーナスの誕生」からインスピレーションを得ています。その貝殻を現代の住まいにもたらし、熟練したイタリアの椅子張り職人の手によって形成させたのがLaVenusで、ユニークで比類のない逸品となっています。手作業で湾曲させたスチールフレームは、サテンゴールドの光沢を放ち、人間工学的に基づいたエレガントな座り心地を実現しています。時代を超越した神話の現代版といえるLaVenusは、新しいルネッサンスを象徴します。

DULCIS | ドルチス

Dulcisのオットマンは、ファブリックとしなやかで心地よいフォルムのハーモニーを高めるために、手作業で作られており、3種類のサイズが用意されています。マニファクチュアGINORI 1735が抱える歴史的アーカイブにある婚礼用のボンボン入れ（砂糖菓子の入れ物）からインスピレーションを得ています。また、Dulcisの回転式アームチェアは、オットマンの進化形です。遊び心のある機能的なこのチェアは、ゆったりとしたソフトなフォルムでエレガンスを漂わせ、ダイニング、ラウンジ、リビングなど、どの空間にも絶妙にマッチします。

LATOUR | ラトゥール

LaTourは、障害物の間を巧みに移動するウェイターの姿にヒントを得たエレガントな独立型キャビネットです。トーチ技法を用いて手作業で鍛造されたスチール製フレームは、サテンゴールドのメッキ仕上げとなっています。ホワイト、ピンク、ライトブルーという3色からなるハンドペイントによる磁器製の棚板は、取り外すことができ、トレーとしての利用が可能です。機能性と美しさが一体となったデザインは、家具として、あるいはディスプレイ棚としても最適で、アート、美、創意工夫を凝縮させたクラフトマンシップに目を奪われることでしょう。

OPTIQUE | オプティク

Optiqueのデザインは、ルックスがすべてであり、あらゆる要素への人々の視線をキーにしています。フォルムや高さの異なる小テーブルは、まるで魔法のような不思議な錯覚を起こします。上質なレザーに手作業で刻印された柄は、フィレンツェのサン・ジョヴァンニ洗礼堂の床から着想を得たもので、まるで魔法のごとく見る者を魅了します。教会のアーチを逆にしたような湾曲したスチール製のフレームは、太陽のように輝くサテンゴールドカラーを採用したモダンなスタイルとなっています。また、テーブルトップは取り外しができ、センターピースやトレイとしても利用することも可能です。ユニークで実用的、そして汎用性が高いOptiqueは、さまざまなシーンで常に人々を魅了し、驚きを与えてくれます。

DOMUS : Barovier&Tosoとのコラボレーションによる照明

CONTERIE | コンテリエ

GINORI 1735の歴史的アーカイブにあるポーセリンジュエリーからインスピレーションを得たフロアランプです。その構造は、貴重なハンドメイドのポーセリンビーズと手吹きされたムラーノガラスで構成されています。円錐形のムラーノガラスから優しく放たれる光は、陶磁器製のベース部分とシンメトリックな形状で呼応しています。身につける人の顔を照らすネックレスのように、Conterieはその優美な光で住まいを明るく照らします。



GINORI 1735

PRESS RELEASE
05th April, 2023

ITALIA

SIDERIS | シデリス

指一本で天空に触れる：何世紀も前、ガリレオ・ガリレイは望遠鏡を上空に向け、天空の広さを測ることを敢行し、大発見を成し遂げました。Siderisのテーブルランプは、ガリレオの勇気へのオマージュとして誕生しました。ゴールドとプラチナの2色から選べる磁器製のベース部分は、手吹きのみラーノガラスで作られた球体を支えています。このユニークなふたつの要素の出会いが、光の革命を起こし、機能的かつ装飾的なテーブルランプを実現しました。

TRINITAS | トリニタス

ルネサンス時代の「三位一体」という普遍的な美の原点にあたる概念をベースに生まれたのがTrinitasです。照明を形成する各要素が見事に調和し、美的なハーモニーを奏でていきます。充電式で持ち運びができ、どんな環境にもシンプルかつエレガントに馴染むTrinitasは、それぞれに理想とする空間演出を叶えてくれるでしょう。サテンゴールドのメタル製アーチに支えられた磁器製トレイの上には、3つの手吹きのみラーノガラスが並びます。そのクリスタル上に施された熟練職人によるテクスチャーは、みラーノ島の伝統への敬意を表しています。カラーは3バリエーションからなり、調光が可能です。すべてが完全なるハンドメイドで、ひとつとして同じものがない1点ものになります。

DOMUS : Rubelliとのコラボレーションによるファブリック

ORIENTE ITALIANO | オリエンテ・イタリアーノ

GINORI 1735の磁器コレクション、Oriente Italianoの特徴的なスタイルをファブリックという新たな素材で探究、実現しました。コットンとビスコースのジャカード生地に編り込まれた糸は、磁器に描かれた水彩画の光と影の戯れを想起させ、描かれた花の魅力をも十分に引き出す繊細なニュアンスを作り出しています。GINORI 1735のルーツと歴史は、創造と革新によってのみ現代へと継承できるのです。まさにこのファブリックは、GINORI 1735の実験的な挑戦を体現しています。

ONDOR | オンドリ

GINORI 1735のアイコン、雄鶏Ji Ondoriをモチーフにした「レッドコック」の装飾が、アジアの伝統的な美徳と幸運のシンボルである軽やかで繊細な葉の装飾と融合し、洗練されたジャカードファブリックとして生まれ変わりました。ここに描かれた解放的な葉の舞は、生き生きと軽快な新しいエネルギーを表現し、人々に自らを解き放ち自由になることを鼓舞しています。

SAGITTA | サジッタ

Sagittaは、ジオ・ポンティのクリエイティブな才能を讃えて製作されました。対角線が水平線とつながり、奥行きと動きを生み出す洗練されたデザインになっています。傾斜したラインは、ブルネレスキが遠近法を用いたように現実の認識を変革し、エッシャーが不可能な構造を用いたように、人間の想像力を刺激します。Sagittaの斜線は、まるで稲妻のようなエネルギーを放ち、立体感とダイナミズムを生み出しています。それは単なる視覚的な遊びではなく、現実における本質や活発な創造性を表現しているのです。

SAIA | サイア

あらゆるものが経過し、あらゆるものが変化しゆく。Saiaは、絶えず変化を感じさせるジャカード生地で、Ginori 1735の磁器に使われる陰影のある着色技術を想起させます。マニファクチュアGINORI 1735の類まれな創作工程は、常に驚きに満ちています。Saiaは、留まることを求めるのではなく、むしろ日常の小さな変化が生む感動を楽しむことを提案します。現実における本質や活発な創造性を表現しているのです。



RICHARD GINORI S.r.l. single shareholder Registered Headquarters: Viale Giulio Cesare 50 - 50019 Sesto Fiorentino - Florence

Share capital 150,000.00 euros fully paid - Tax ID/VAT Number and registration number in the Florence Company Registry: 05795200483 Subject to management and coordination by Kering Holland NV, Dutch registered company with headquarters in Amsterdam

GINORI 1735

PRESS RELEASE
05th April, 2023

ITALIA

About Luca Nichetto (ルカ・ニケット)

1976年、ヴェネツィアで生まれたルカ・ニケットは、その芸術的才能をこの地の名高いムラーノガラス産業に触発されています。1998年にヴェネツィア建築大学 (IUAV) で工業デザインを学んだ後、ムラーノ島のガラス工房、サルヴィアーティに入社。その後、照明メーカーのフォスカリーニでプロダクトデザイナー兼コンサルタントとして活躍。2006年に、ヴェネツィアで自身の名を冠したスタジオを設立。2011年には、スウェーデンのストックホルムに拠点を移し、第2のスタジオを開設し、独自のイタリアンデザインと、スウェーデンの現代性とサステナビリティ精神を融合させた作品づくりを開始。ニケットは、そのキャリアを通じ、多くの国際的なデザインブランドのアートディレクターを務め、デザイン産業の専門知識を養ってきました。また、数々の大学で教鞭を執り、ワークショップを開催し、さまざまな国際的デザインコンペでも審査員を務めています。ニケットの作品は、世界中の名だたる展覧会で展示され、ロンドン、ニューヨーク、北京といった大都市での回顧展でも紹介。家具やアクセサリから建築、展示会デザインやブランディングに至るまで、その洗練された革新的なデザインで評価され、数多くの国際的なアワードを受賞しています。

About Luca Nichetto (パロヴィエール&トゾ)

Barovier&Tosoの物語は、創業地であり現在の拠点でもあるヴェネチア・ムラーノ島で1295年に始まります。このヴェネツィア産クリスタル製の装飾照明のトップメーカーは、トレンドに決して左右されることなく、常なる感動を追求し、先人たちから継承した伝統と最新技術を融合させ、「美」の本質を知る人々の暮らしと感性のために独自の時代感覚を表現し続けています。その使命は、クラシックとコンテンポラリー両者におけるハイエンドな装飾照明を創造すること、そしてユニークなデザイン、優れた職人技、創造性と融合した技術によって、時代を超越した傑作を創り出し、人々に真の感動と特別なムードを与えることにあります。プロジェクトの初期段階から製品の完成に至るまで、完全なコンサルタント・サービスを常にクライアントに提供し、そのニーズに応じたオーダーメイドの照明デザインの数々も手掛けています。

About Rubelli (ルベリ)

Rubelliは、130年以上にわたり、インテリア製品、特に住宅用およびコントラクト用のファブリック類を創造、製造、販売しています。そのグループには、RubelliとRubelli Casa (家具)に加え、Kieffer by Rubelliも含まれています。コモにあるスタイルオフィスと織物工場では、すべての製品の生産工程を一貫して管理。また、90カ国以上にショールーム、代理店、販売店を展開しています。さらに、サステナビリティと環境保護の観点から、地球に対するコミットメントと責任を果たすべく、「グリーン」な道を歩み始めています。その象徴が、2018年に創設されたルベリ財団で、テキスタイルや資料など6万点を超える歴史的なアーカイブを誇っています

About GINORI 1735

イタリア・フィレンツェで創業したGINORI 1735は、約3世紀に渡りその上質な磁器と優れたデザインで、ライフスタイル&ラグジュアリー分野におけるイタリアの卓越性を象徴する国際的なブランドのひとつとして評価されています。2013年よりケリンググループの一員となり、ファッション、アート、デザイン、建築、映画、インテリアデザイン界の優れた才能たちとの密接な関係を築き上げてきました。伝統と革新を見事に融合させたGINORI 1735の製品は、テーブルウェアコレクション、アート作品、インテリア、ギフト用品、カトラリー、ガラス製品、ファブリックなどと多岐に渡り、イタリアらしい文化や色彩、アート、ホスピタリティへの情熱が巧みに表現されています。それぞれの製品にあしらわれた王冠のマークは、優雅なスタイルを大切に家庭や世界屈指のレストランなどで親しまれ、ゆらぐことのないブランドの真髄——クラフトマンシップとアートの洗練された融合——を象徴しています。そこには、世紀を超え独自の製造工程を発展させ、昔ながらの技術と現代的な感覚を重ねた最先端のもの作りが息づいています。GINORI 1735の使命は、日常の喜びや芸術的表現の再発見と活性化、そして私たちひとり一人の個性を尊重しながら現代のルネサンスを推進することです。今日のGINORI 1735の世界は、メゾンの伝統を新たなビジョンで再解釈する新世代の才能たちの多様な表現とスタイルで形成されており、アートを日常生活の中に、または日常性をアートの中にもたらす力を秘めています。その販売ネットワークは、31カ国で展開するグローバルな自社E-コマースとフィレンツェ、ミラノおよびパリの旗艦店、イタリア国内と世界中の厳選された百貨店やブランド専門店といった販売店から構成されています。

<https://www.ginori1735.com/jp/ja>

GINORI
1735



GINORI 1735 Japan Press Office
daily press 川村 美帆
press@richardginori.co.jp



RICHARD GINORI S.r.l. single shareholder Registered Headquarters: Viale Giulio Cesare 50 - 50019 Sesto Fiorentino - Florence

Share capital 150,000.00 euros fully paid - Tax ID/VAT Number and registration number in the Florence Company Registry: 05795200483 Subject to management and coordination by Kering Holland NV, Dutch registered company with headquarters in Amsterdam